

木の香り漂うおしゃれな店内。伝統菓子やウルトラマングッズ、岩瀬産きゅうりなど旬の野菜、flatto限定商品など、さまざまなアイテムを目当てに地元リピーターも多数。



『tette利用の際や街歩きについて、気軽に「フラット」お立ち寄りください!



10/2 Open

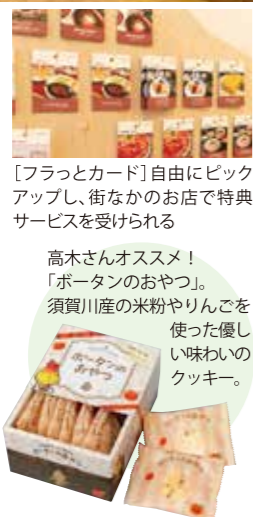


flatto
SUKAGAWA
PRODUCT STORE
須賀川市中町11
☎0248-94-4855
[開館]9:30~18:00
[休]年末年始

すかがわ観光物産館flatto



須賀川市観光物産振興協会 高木俊大さん



[フラットカード]自由にピックアップし、街なかのお店で特典サービスを受けられる

高木さんオススメ!
「ポータンのおやつ」
須賀川産の米粉やりんごを使った優しい味わいのクッキー。

「牡丹園近くにあった「須賀川物産店」が、tette隣に引越し、すかがわ観光物産館flatto(ふらっと)として再スタート!コンセプトは、さまざまな人とモノ、情報が「フラット」につながるショップです。地域の恵みを象徴する阿武隈の山並みをデザインした木の空間には、約1200点の「いいもの・おいしいもの」がずらりと勢ぞろい。須賀川の銘菓や特産品はもちろんのこと、福島県内の選りすぐりの商品や雑貨、友好都市の北海道長沼町のジੰギスカンや神奈川県座間市のサマオーレなど話題の産品も。「観光のお客様のほか、須賀川の産品をよく知る市民の皆さんにも、こんなものが地元にあったの?」と発見してもらえるようなものを集めました」と担当の高木さん。オープンに際して、数社の事業者さんが協働で手掛けたflatto限定商品も生まれるなど、地元の活性化にも一役買っています。

地元のいいもの、おいしいもの「ふらっと」再発見

2020秋 ゾクゾク開館!

この秋、須賀川に食や文化の交流施設が続々オープン! 学んで、食べて、つながって、地元をディープに楽しみませんか?

須賀川市風流のはじめ館・すかがわ観光物産館flatto



10/9 Open

須賀川市風流のはじめ館

『奥深い和の世界で、新たな出逢いや気づき、潤いのある時間を愉しんでください。』

芭蕉の句「風流の初やおくの田植うた」が館名の由来。館内は作品展示や休憩ができるオープンギャラリー、松尾芭蕉、相楽等躬など須賀川ゆかりの俳人を紹介する「文化伝承の間」、和室3室、講演やワークショップのための多目的室がある。



風流のはじめ館 館長 高橋亜純さん



「日本文化は、身近な自然や季節の移ろいに気づく心のゆとりを与えてくれます。ここは、須賀川に受け継がれる和の文化に触れ、現代の私たちが忘れがちな豊かなひとときに出逢っていただく施設です」と館長の高橋さん。風流のはじめ館は、俳句や書、絵画、茶道や華道、舞踊などの文化活動を通して、人と人がつながりを育む場としてオープンしました。

橙のキンモクセイが香るすかがわ文化の交差点

須賀川 TOKUSATSU ARCHIVES CENTER 特撮アーカイブセンター
須賀川市柱田中地前22
☎0248-94-5200
[開館]9:00~17:00/見学自由
※10名以上は、事前連絡が必要
[休]火曜日(祝日の場合は翌平日)
・年末年始

特撮を学び体感し、いっしょに円谷英二監督ゆかりの須賀川から特撮文化の素晴らしさを発信していきます!

特撮アーカイブセンター 須田元大センター長とスタッフの皆さん

田園風景に突如出現する約9層×27層の大怪獣シルエット!ウルトラマンをはじめ、特撮映像に一度でもトリコになった人なら胸躍らずにはいられない、世界初の特撮文化拠点「須賀川特撮アーカイブセンター」がもうすぐ誕生します。センターでは、時代の流れに埋もれつつある特撮技術やミニチュアなどの資料を収集し、次世代へと受け継ぐため保存・修復・調査研究を行います。いまはベールに包まれたセンター内ですが、11/3のオープン後はだれでも見学可能。あのヒーローや、記憶に深く刻まれた名場面が生まれた物語に、みんなで会いに行きましょう!

日本が誇る特撮文化を世界へ!次世代へ!

11/3 Coming Soon

旧岩瀬公民館を活用した特撮アーカイブセンター外観。大怪獣のシルエットがお出迎え!

須賀川特撮アーカイブセンター

風流のはじめ館
須賀川市本町81-4 ☎0248-72-1212
[開館]9:00~22:00
※土、日、祝日は9:00~20:00
(文化伝承の間~17:00)
[休]火曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始

場所は須賀川の俳人、相楽等躬ゆかりの地。キンモクセイと緑豊かな庭園に彩られた地に、日本家屋の伝統と現代デザインが融合した空間が広がります。文化団体の活動拠点としてはもちろん、若い世代の方々やお子さんがさまざまな作品に触れて会話が生まれ、和の世界に興味や関心を持つことが文化の継承につながります。博物館やtetteなど街歩きのひとつとして、心穏やかな時間を楽しんでいただきたいですね。